

学校運営協議会（第2回）議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	可知 万千代

開催日時	令和5年12月14日（木） 10:00 ～ 11:30
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	藤田 寿夫(会長) 八尾 康典(委員) 古賀 正広(委員) 山田末人(委員) 梅沢 愛(委員) 岩出 るり子(委員) [欠席]
出席者(学校)	可知 万千代(校長) 長田 登起夫(教頭) 荻谷 美加(教頭) 石川昌義(事務部長) 相馬 寿子(首席) 木下 達夫(首席) 木下昌代(高等部主事) 坂野 理恵(首席・中学部主事) 上田 悠司(小学部主事)
傍聴者	なし
協議資料	目次、資料1:実践報告(映像)、資料2:令和5年度学校経営計画及び学校評価、 資料3:令和5年度学校教育自己診断アンケート、資料4:交野マトリクス一覧表
備考	

議題等(次第順)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 実践報告 題目:『中学部の教育活動について』及び質疑応答</p> <p>(3) 議事 ①「学校教育自己診断アンケート」について ②「令和5年度学校経営計画」進捗状況について ③ 意見交換 ④ その他</p> <p>(4) 今後の予定</p>
協議内容・承認事項(説明・意見の概要)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>コロナ規制解除から改めてスタートし、来年度に向けての「個別の教育支援計画」等々の整理・見直しをしていく予定。協議会の皆様からのご意見をいただき次年度の学校経営計画の作成に活かしていく。</p> <p>(2) 実践報告 (発表者:首席 坂野理恵)</p> <p>「中学部の教育活動について ～学校生活の一日とキャリア教育につながる取り組みについて～」→1日の学校生活のビデオ鑑賞 →中学部のキャリア教育について</p> <p>説明(写真付き):カジパン工房によるパン作り体験/ミュージックシェアリング訪問プログラム/楽器指導支援プログラム/マクドナルド販売体験実習/関西万博SDGsの取り組み/各種アート展への応募/線香作り体験/欄間作り体験/WHO美術展にて入選/阪急阪神電鉄はがきコンテストにて佳作/オリT甲子園への投稿/障がい者スポーツ大会等への参加など様々な体験学習を重ねている。そのような様々な学校生活場面を映像で流し、説明する。</p> <p>質問・意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実体験の学習活動が素晴らしい

・感動した。

・教員の個々のつながりで講師派遣を依頼しているのか？

→はい。生徒の実態に応じた既存のプログラムがなかなかなく、今のところ個人が交渉している。

・映像、写真が見やすかった。学校の先生方以外にも各界の専門家を呼ぶことはすばらしい。今後もこのような取り組みを続けていただきたい。

・卒業に向けて社会との懸け橋が大事（情報の共有）。卒業に向けて学校生活の一日の様子を外部にも伝えることは大事。

・放課後等デイサービス事業所と教員とのつながりがありがたい。保護者は外部機関と学校がつながっていることに感謝している。今後も児童生徒の事業所での様子を知るためにも情報共有を大切にしてほしい。

(3) 議事

① 「学校教育自己診断アンケート」について（資料あり）

令和5年度アンケート回答結果および分析結果、次年度に向けて課題と考えていることについて報告した。

【協議員より意見】

→残業についてどういう状況か？

○課業中に個人の業務を進められる時間が少ない。その結果、個々人の仕事が、17時以降になってしまうこともある。業務の負担軽減もさることながら、今年度の取り組みとして、17時定時退庁日を設け、実施している。第2火曜日（ハートフルデイ）は遅くとも17時30分退庁。その他の火曜日（ハートデイ）は遅くとも18時00分施錠。17時になると、校内放送で曲を流すことで定時退庁が定着してきた。

○大阪府立学校全体の17時退庁の取組に対し、保護者の事情を鑑みて、自動応答を30分延ばして設定しているが、17時30分以降は電話受付していない。

○保護者からの遅刻欠席の電話連絡を電話でなくメールで24時間受け付けるようにした。

○議題提案のスケジュールを見直し、毎月開催していた職員会議を年3回分削減。（校長からの話は、毎月ある。）

→時間外勤務削減への工夫が進んでいるとはいうが、その分、実際に残業は自宅に持ち帰りしていないのか？

○学校の教員は、児童生徒のことを第一に考え勤務している。個人情報や家を持ち帰ることはないが、子どもたちによりよい学習環境を！と教員たちは考える。そのため行事前などは、自宅で教材づくりをすることなどはあるかもしれない。

→教職員アンケートの「項目10」と「項目16」の肯定的意見（%）が低い。それは課業中の個人が自由に仕事できる時間の少なさが関係しているのではないか？地域の中学校ではクラブ指導を外部に委託するなど工夫している。時代も時間外勤務削減を後押ししているので、優先順位を大事にして仕事を見直してほしい。また、保護者や地域の理解も必要であると考えられる。

② 令和5年度学校経営計画の進捗状況について

○学校教育自己診断アンケートの結果を踏まえ改善策を学校経営計画へ盛り込んでいる。

本年度の取り組み内容：

1-(1)-ア

人権意識セルフチェックシートの内容を刷新し、各自・配属学年での事象を共有し、自身の行動を見直すようにしている。

1-(2)-ア・イ

医療的ケアが必要な児童生徒に対する看護師配置・巡回も順調に行えている。

1-(3)-ア・イ

危機管理の徹底として、継続して備蓄品管理や体育館への避難訓練の実施。また、今年度は保護者と協働して備蓄品の確認や整理を行った。大災害時における児童生徒引き渡し訓練も進めていく予定。

2-(1)-ア・イ・ウ

教員は授業中に、他学部や他の教員方の授業を見学できる機会がなかなかとれない。

そこで学部を超えた少人数の教員グループでの研究授業体制を設定し、より相互の意見交流の場を広げる活動を実施している。加えて、ルーブリック評価表や交野マトリクス（キャリア教育一覧表）の活用により個別の指導計画の充実を図る検討がすすめられている。

2-(2)-ア

自立活動の充実のため、外部の福祉人材の専門家を招き、各自助具・装具類の確認・調整に義肢装具士が、毎週金曜日に来校している。おもに自立活動部が中心に管理し進めている。

2-(2)-イ

実態把握のためのアセスメントを導入し、教員の実態把握スキルを身につけ、授業の充実を図っている。

2-(3)-ア

教員は、自由自在に学校現場で ICT 機器を活用している。ただ、教員用の iPad の支給が府よりないことが、ICT 化をさらに進めるうえで支障となっていないか懸念される。

3-(1)-ア

勤務経験年数にかかわらず、相談しあえるシステムは大事。ストレスチェックの結果も参考に成長しあえる職場環境の充実を図っていく。

3-(1)-イ

「個別の教育支援計画」の作成をする上で「交野マトリクス（キャリア教育一覧表）」を参考にしていく。また、交野支援版専門性チェックシート「Mapping Sheet」を活用し、各教職員が研修の受講計画や成果指標の参考にしていく。

4-(1)

本校としては、こういった取り組みをしているか説明できる体制が大事。学校間や地域との交流もコロナ禍からの脱却期を迎え、さまざまな交流活動が復活してきていることが喜ばしい。

③ 意見交換

・卒業後の障がい者支援施設利用の状況について、1つの事業所でなく掛け持ちで契約されている方が増えているように思う。事業所のサービス提供としては、1か所でしっかりと支援させてもらうほうがありがたい。しかし、現状はそうではない。なぜなのか？

→2施設以上の施設利用の理由として、1施設では連日医療的ケアが必要な方の受け入れが困難であると断られるケースもあるという社会資源の少ない現状があるときいている。

・地域の公民館等に提示させてもらった「交野支援学校ポスター」は評判が良い。地域の方々

が理解を示し、好印象をもったという話を聞く。また今年度は校内を実際に見て、話を聞いたことで本校への理解が深まり、他の地域住民からの通学バスの苦情について、事情を区長として説明できるようになった。

・今回の中学部の実践報告を見せていただいて感動した。中学部のイベントや様々なアイデアは素晴らしい。今後のイベント活動などあれば、創価学園中学部としても一緒に取り組みたいので教えていただきたい。

(保護者より)

・普段の学校生活の映像をみせていただき感謝です。先生方は全介助の子どもたちが多く中、身体的にも大変だと思いますが、無理なさらないでください。今後ともよろしくお願いします。

・民生委員の学校見学要望など地域にも呼び掛けたい。今後の受け入れ態勢について協力をお願いしたい。

(本校校長より)

・校内の行事の通常再開も始まり、体育館エアコンの整備など重度心身障がいのある子どもたちに対する環境整備が整ってきた。今後も児童生徒のよりよい学習環境の充実のために教育庁に働きかけていく必要がある。

・昨日府立支援学校 PTA 協議会对府懇談会も開催され、今後の医療的ケア児の教育環境の充実を大阪府に対し訴えてきたところである。

(4) 今後の予定

- ・第3回は令和6年2月7日(水)10時から開催予定。

次回の会議日程

日時	令和6年 2月7日(水) 10:00～
会場	大阪府立交野支援学校 校長室